

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

## 農業と勉強の両立を続けたい

大渡 和公かずひろ さん（草野）

震災前もアスパラガスの生産に取り組んでいた大渡さん。3月4日、飯館村では初めて「ふくしま県GAP」(FGAP)の認証を受けました。「FGAP」は、農林水産省の「農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン」に準拠し放射線物質対策を含めた県の基準も満たした生産者を、県が認証する新たな制度です。大渡さんは、講習



震災前は米と野菜、原木シイタケなどを生産。南相馬市に避難中も「いいたて全村見守り隊」に参加。その後福島市に移り平成30年から村でアスパラガスの栽培を再開しました。FGAP 認証書を手を。



7棟のハウスを整備しアスパラガスを栽培しています。再開後は奥様の協力を得ながらほぼ1人で管理をしてきましたが、今年は人手を確保しながら管理や出荷を行う予定です。

などを受けながら、2年がかりで認証取得に至りました。アスパラガスは、4月から9月頃まで、「いいたて村の道の駅までい館」の直売所に出荷します。「現在の規模を維持して、品質を上げていきたい。先輩方の活躍も見ていますから、あと10年、80歳までは頑張りたいね」。

また、大渡さんは、農業の傍ら、桜の聖母短期大学(福島市)に週3回通い、社会人向け履修証明プログラム「桜おとなカレッジ」を受講。一般の学生と共に、「法学」「生涯学習概論」「戦後日本社会史Ⅱ」を学び、3月6日、同プログラム第1号の履修証明書を受け取りました。もともと読書が好きで、「最低でも1日1冊は読む」と言う知識欲旺盛な大渡さん。「続けていくことが大事」と今後も新たな講座で学び続けたいと考えています。

### 〈編集後記〉

●百歳賀寿の取材。ご本人にお祝いにつけつけた関係者のお見送りまでしていただきました。取材を終わろうとしたところ、「また来いよ」と声をかけていただきました。まだまだ若輩者、背筋伸ばしてがんばります。村民の方に、「また会いたい」と思われる広報マンを目指して。(木幡)

●大喜利にも参加してくれた飯館中学校の皆さん。卒業式であいさつをした卒業生の庄司さんは「明日から会えないのがさみしくてたまらない。あたりまえの日々のかけがえのない大切さを思います」と言葉を紡ぎました。あたりまえのベールに包まれた大切なもの、自分にとって特別なもの。私もそれに気づいて大事に暮らしていきたいです。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。